

事務事業名	《H24新規》高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種事業		所属部局	保健福祉部	単位番号	2012- 900035				
	□ 実施計画事業		所属課室	健康増進課	課長名	深澤 秀				
			所属担当	健康企画担当	担当者名	刃刀 潤				
基本政策	基本計画	IV 快適で心のかよいあう都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目
政策	18	健康づくりの推進	事業区分	01	一般	04	01	02	020	10
施策	31	保健・医療の推進		<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度) 年度)			法令根拠	南アルプス市高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業実施要綱					
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 肺炎球菌ワクチンは、任意の予防接種である。 肺炎球菌による肺炎は、肺炎の25%から40%を占めている。予防接種を受けることにより、肺炎球菌による肺炎にかかりにくくなり、かかった場合も症状が重くなくなりやすくなるため、市内在住の80歳以上の高齢者を対象に肺炎球菌ワクチン接種費用を助成する。助成は生涯1回。金額は4,000円。			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 臨時職員賃金 39 衛生扶助費 1,630 計 1,669						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	助成内容は24年度と変わらない。80歳以上の方に高齢者インフルエンザ予防接種案内通知に当該事業の案内を同封し、周知した。 対象年齢を引き下げ65歳以上とする。また、10月より当該ワクチンが定期接種化の予定。	⇒	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)数字は記入しない	名称 単位 A: 80歳以上の高齢者 人 I: U:
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市内在住の80歳以上の高齢者(生涯1回限りの助成)	⇒	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない	名称 単位 A: 80歳以上の高齢者 人 I: U:
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	肺炎球菌ワクチンを接種することにより、肺炎球菌による肺炎などの感染症の予防及び重症化を防ぐ。	⇒	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称 単位 A: 接種者数 人 I: 接種率 % U:
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	市民の健康保持・医療費の抑制	⇒	⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)数字は記入しない	名称 単位 A: 接種者の離間率 % I: U:

年間トータルコスト		単位	23年度 (決算・実績)	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算見込・実績)	26年度 (予算・目標)	27年度 (計画・目標)	28年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円		681	1,669	3,300	3,300	330,000
	事業費計(A)		千円	0	681	1,669	3,300	3,300	330,000
人件費	正規職員従事人数	人		4	4	4	4		
	延べ業務時間	時間		12	24	24	24		
	人件費計(B)	千円	0	55	109	109	109	0	0
(A)+(B)		千円	0	736	1,778	3,409	3,409	330,000	0
活動指標	A: 人			4,675.0	5,257.0	16,500.0	16,500.0	16,500.0	
対象指標	A: 人			4,675.0	5,257.0	16,500.0	16,500.0	16,500.0	
成果指標	A: 人			167.0	403.0	825.0	825.0	825.0	
	I: %			3.5	7.7	5.0	5.0	5.0	
上位成果指標	A: %								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	80歳以上の高齢者や肺炎球菌による重篤疾患による離間する危険が高い。最近インフルエンザに関する意識の高まりとともに本ワクチンの認識が急速に高まっている。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	肺炎による死亡者数のうち95%が高齢者。また、肺炎で一番多い病原菌は肺炎球菌であることから予防接種への必要性が高まり、接種数も増えていくのではないかと予測されている。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	平成21年12月・平成22年6月議会にて助成への検討要望が寄せられている。また市民・医療機関からも要望がある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	・平成26年度より対象者の範囲を拡大し、80歳以上から65歳以上まで引き下げる予定 ・平成25年度には、80歳以上の対象者に9月下旬に発送した高齢者インフルエンザ予防接種接種券に当該事業の案内を同封した。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	同上

事務事業名	《H24新規》高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課
-------	--------------------------	-----	-------	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 肺炎による死亡率が全国不動の4位を「占めている。また、肺炎の最も多い原因菌が肺炎球菌であるため高齢者への肺炎球菌ワクチン接種することにより死亡率の抑制効果を上げるため
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 健康保持及び医療費を抑制するために、任意接種であるが、市で助成し死亡原因の肺炎を抑制するため 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 平成26年10月より、当該ワクチンが定期的予防接種となる予定であるため
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 生涯1回限りの助成である。また、この予防接種は、自己の判断と責任で接種となるため、個別通知により接種勧奨は出来ない。市広報紙などで予防接種の有効性を周知し、接種者数及び接種率の向上に努めていく。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統廃合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 肺炎球菌を起因とする疾病が予防できず、医療費が抑制できなくなる。 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 同左
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 平成26年10月より、当該ワクチンが定期的予防接種となる予定である。これに伴い、助成対象年齢を見直すことで事業費の削減に繋がる。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 既に接種は医療機関へ委託し実施している。その他の事務処理手続き等は、今後も効率化できない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 受益者は、80歳以上の高齢者である。ワクチン接種に8,000円程度かかるものであり、そのうちの4,000円を助成し、4,000円を自己負担しなくてはならないため、受益者負担は適正であると考えている。

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	最近の情報でも肺炎による死亡率が高まっているこのため肺炎の予防が必要である。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> <p>※ 廃止・休止の場合は記入不要</p>			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について 平成26年度10月より定期的予防接種として導入予定である。定期接種対象者がどうなるのかを見定め、助成事業対象者の範囲を検討していきたい。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 定期接種の対象者が決定され次第、助成事業の対象者の範囲の検討に入る。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	成果優先度評価結果 ⑧																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑥																					